

2025年度

一般社団法人 岩手県臨床衛生検査技師会定時総会

議 案 書

日 時 2025年 5月 24日（土曜日） 14時 00分

会 場 WEB開催（岩手医科大学附属内丸MC技師研修室から配信）

一般社団法人
岩手県臨床衛生検査技師会

2025年度定時総会次第

- 1 開会の辞
- 2 会長挨拶
- 3 議長選出
- 4 総会役員選出 資格審査委員・議事運営委員・書記・議事録署名人
- 5 総会成立の確認
- 6 報告事項
- 7 議事
 - 承認第1号 2024年度事業について
 - 承認第2号 2024年度決算について
 - 承認第3号 2024年度監査報告について
 - 第1号議案 2025年度事業計画(案)について
 - 第2号議案 2025年度予算(案)について
 - 第3号議案 2025・26年度理事・監事の選任(案)について
- 8 総会役員解任
- 9 議長解任
- 10 その他
- 11 閉会の辞

報告事項

令和 7 年度事業としては令和 7 年 3 月 19 日に行われた理事会の決議事項に沿って組織を再編し、事業を展開致します。決議事項は岩臨技定款細則組織運営規定第 8 章で規定されているように理事会での決議で決定されましたので、総会へは報告事項となります。ここでは議事に先立ちまして決議された報告事項を提示致します。

【1】地区区分の再編について

- ① 令和 7 年度をもって 5 地区制（地区技師会）を廃止し、2 地区制とする。
（矢巾より北を新北部地区、矢巾を含む南を新南部地区とする。ただし旧三陸地区のうち宮古市にある病院は人数割り調整のため、新北部地区に含まれるものとする。）
- ② 新しい地区割は理事選出区分とし、地区単位での活動は廃止する。
- ③ 令和 7 年度は 5 地区制のままとする。ただし、各地区で総会を行うが、地区活動は行わない。
- ④ 地区活動費は令和 7 年度から廃止とする。
- ⑤ 理事選出方法については、令和 7 年度の検討事項とする。

【2】学術部の再編について

- ① 地区部門員がほぼ機能していないため、2 地区制への移行に先行して、令和 7 年度から地区部門員を廃止する。
- ② 各部門は部門長と副部門長の 2 名体制とし、役割分担を明確にする。
- ③ 令和 7 年度から研修会は学術部主導で開催する。
- ④ 令和 7 年度の県学会（南部地区主催）に学術部が協力し、令和 8 年度からの県学会は学術部と理事で企画・運営する。
- ⑤ 学術活動に必要な人員については、会員に協力を求める。→精度管理等会員に協力要請する。
- ⑥ 部門長および副部門長の選出方法や組織体制、支出規程の見直し等は令和 7 年度の検討事項とする。

【3】組織再編スケジュールについて

- ① 令和 8 年度から 2 地区制を開始するにあたり、日臨技や他県と役員の選任スケジュールを合わせるため、令和 7 年度の新役員は 1 年で辞任とする方針。そのため、可能な限り、現行役員を令和 7 年度の新役員として再任したい。
- ② 令和 8 年度に新役員を選任し、法人登記をすることで日臨技と任期を合わせることが可能となる。
- ③ 2 地区制への移行にあたり、組織図や規程等の変更が必要となる。令和 8 年度からの移行にむけて、令和 7 年度中に臨時総会を行うことも検討する。
- ④ 令和 10 年度の北日本支部学会は岩手県が担当であり、令和 8 年度には実行委員会の立ち上げが必要となるため、令和 8 年度からの役員は、可能な限り 2 期継続して務める。

【4】組織再編に伴う定款・諸規程等の変更について

- ① 定款・諸規定の内容を精査し、再編後の組織運営に矛盾を生じないか検討する。

【5】事務局移転について

- ① 内丸 MC の矢巾統合に伴い、内丸 MC が使用できなくなることから、事務局を紺屋町ギボーシプラザ 402 号へ移転させる。移転に伴う賃貸契約は 7 月 1 日からとする。

【6】ホームページのセキュリティ対策について

- ① ホームページのセキュリティ対策として、SSL 設定が必要であることから、早急に対応する（ホームページ関連で年間 11,880 円の経費が追加となる）。
- ② 令和 7 年度中にサーバー移行も含めたホームページのリニューアルを検討する。

【7】 三陸南部山林火災への対応について

- ① 岩臨技としての対応および被災状況の報告と今後の課題。
- ② 被災者を対象に会費減免を行う。申請があった場合、直近で開催される理事会で決議し、県事務局で免除申請の対応を行う。
- ③ 今後、県との災害協定も含めた災害対応について検討し、災害マニュアルの作成や規程の見直しを行う。
- ④ 火災発生時の岩臨技の対応および被災状況は記録に残した方が良い。東日本大震災を教訓にする。

承認第 1 号

令和 6 年度事業 一般経過報告

令和 6 年度は日臨技の宮島喜文会長が旭日中綬章を受章され、岩臨技からも 4 月の祝賀会に参加致しております。また、会長職は横地常弘会長へバトンタッチされ、それに伴い体制の変更がなされました。

この中で岩臨技各部門では予定された事業を滞りなく行ってきました。

特に令和 6 年 10 月 19 日にアイーナにて第 27 回岩手県医学検査学会と同時に行われた岩臨技設立 70 周年・法人化 35 周年記念式典・記念祝賀会が新沼実行委員長を始め、各実行委員の皆様方、会員方々のご協力の下、無事に開催できたことはとても喜ばしい事と感じます。

70 周年記念誌についても記念誌編集委員会の大変な努力で形になりました。記念誌は各施設に 1 部ずつ配布し、会員個人毎には岩臨技ホームページからのダウンロードを予定しております。

令和 6 年度は北部地区技師会より提案された地区割編成の見直しについて常務理事にて複数回に渡り審議が行われ、3 月 19 日の理事会で地区割の見直しとともに以下の内容が審議され承認されました。内容は令和 7 年度事業計画案として総会に提示されます。

- ① 地区区分の再編について
- ② 学術部の再編について
- ③ 組織再編スケジュールについて
- ④ 組織再編に伴う定款・諸規程等の変更について

また、事務局移転につきましても岩手医科大学附属内丸メディカルセンターの矢巾本院への統合が決定したことから令和 7 年 7 月を持って上ノ橋町に移転を予定しています。

令和 7 年 2 月の三陸南部林野火災では岩臨技としての対応は日臨技に倣い対応することとし、申請方法や書類の整備がされていなかったことから、新たに整備することと致しました。

県内は少子・高齢化に伴い、施設の統廃合も行われています。また、会員数の減少もあり、現在の地区割は維持出来なくなり、否応なく変革の時期に來ています。

岩臨技は新しく再編された組織として動きだすこととなりますが、より適切な方向を目指して修正を繰り返しながら進んでいきます。会員皆様方のご支援・ご協力をお願い致します。

最後になりますが、今年度も常務理事、各理事、記念誌編集委員会をはじめとする会員の皆様、関係各位の皆様のご理解、ご尽力、ご協力に感謝申し上げます。

各部門からの事業報告は以下に記載致します。

事業報告

＜総務部＞ 総務部長：佐々木 まゆみ

1. 組織体制および連絡網の整備について

本年度も引き続き、岩臨技ホームページを活用し、会員の皆様にとって有益な研修会や会議等の情報発信を行ってまいりました。また、連絡ツールとして導入しているサイボウズにつきましても、理事、地区会長、部門長等をメンバーとして運用し、迅速かつ円滑な情報共有に活用してまいりました。

2. 研修会・会議用ツールの活用について

岩臨技で契約中の Zoom ミーティングを活用し、各種会議や研修会の開催において有効に運用いたしました。また、今後の更なる効率化を目指し、新たな情報共有ツールの導入についても模索・検討を進めてまいりました。

3. 会員の親睦活動について

感染症の状況を注視しつつ、安全を最優先に配慮したうえで、企画通りの親睦行事を実施することができました。

4. 事務局の移転について

昨年度に引き続き、岩臨技事務局を現在の岩手医科大学附属内丸メディカルセンター中央臨床検査部内から移転するための手続きや候補地の検討を行ってまいりました。

5. 岩臨技 70 周年式典および法人化 35 周年記念事業について

令和 6 年において、岩臨技創立 70 周年並びに法人化 35 周年の節目を迎え、第 27 回岩手県医学検査学会と同日に記念式典ならびに祝賀会を開催いたしました。

多数のご来賓および会員の皆様のご参加、ご協力のもと、盛会のうちに終了することができましたこと、心より御礼申し上げます。

また、記念誌については当初予定より発行が遅れたものの、年度内に無事完成に至りました。ご協力を賜りました全ての関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

＜学術部＞ 学術部長：小野寺 奈緒

1. 第 27 回岩手県医学検査学会

メインテーマ：Focus on the future ～未来を見据えた臨床検査技師を目指して～

会 期：令和 6 年 10 月 19 日（土）

開 催 地：いわて県民情報交流センター（アイーナ）

学 会 長：高橋 一博（岩手県臨床衛生検査技師会 会長）

実行委員長：新沼 美穂子（岩手県立釜石病院）

学会事務局：花輪 恵（岩手県立釜石病院）

教育講演：臨床検査技師のキャリア形成。未来は明るい！？

講師 石山 雅大

弘前大学医学部附属病院 医療技術部長・検査部門長・検査部技師長

特 別 講 演：感染症、大規模災害・テロ対応、海外医療事情 ー外務省・自治体での経験からー
講師 仲本 光一

岩手県盛岡広域振興局 保健福祉環境技監 兼 県央保健所長

一 般 演 題：8 題

担 当 地 区：三陸地区技師会

参 加 者：87 名

※ 岩臨技設立 70 周年・法人化 35 周年記念式典および祝賀会を同日に開催

2. 令和6年度（第30回）岩臨技精度管理調査

実施期間：令和6年12月3日～13日

調査項目：

- 1) 臨床化学検査：酵素・脂質 27 項目（試料 1, 2）、HbA1c（試料 5, 6）
- 2) 免疫血清検査：HCV 抗体、HBs 抗原の定性・定量（試料 7, 8）
- 3) 血液検査：血算 6 項目（試料 9, 10）、フォトサーベイ（細胞判定 15 題、病態解析 1 題）
アンケート調査（凝固検査検体取り扱いに関する）
- 4) 一般検査：フォトサーベイ（12 題）、尿定性検査（尿糖・尿蛋白・尿潜血）
- 5) 輸血検査：ABO および RhD 血液型検査（試料 12, 13）、
不規則抗体スクリーニング検査（試料 12, 13）、
不規則抗体同定検査（試料 12, 13）、
フォトサーベイ（不規則抗体同定検査 3 題）
- 6) 微生物検査：フォトサーベイ（2 題）、同定検査（1 題）、同定・薬剤感受性検査（1 題）
- 7) 病理検査：PAS 染色
- 8) 生理機能検査：心電図検査（5 題）、心臓超音波検査（2 題）、腹部超音波検査（2 題）、
呼吸機能検査（2 題）

参加施設：

- 1) 臨床化学検査 酵素・脂質項目 41 施設、HbA1c 40 施設
- 2) 免疫血清検査 33 施設
- 3) 血液検査 血算部門 42 施設、形態部門 39 施設
- 4) 一般検査 42 施設
- 5) 輸血検査 ABO および RhD 血液型検査 30 施設、
不規則抗体スクリーニング検査 26 施設、
不規則抗体同定検査 8 施設、フォトサーベイ 26 施設
- 6) 微生物検査 フォトサーベイ 17 施設、同定検査 12 施設、
同定・薬剤感受性検査 11 施設
- 7) 病理検査 10 施設
- 8) 生理機能検査 心電図検査 37 施設、心臓超音波検査 31 施設、腹部超音波検査 27 施設、
呼吸機能検査 36 施設

報告会：令和7年2月8日（土）ハイブリッド開催（リリオ+Zoom）

精度管理調査結果報告

- ① 臨床化学検査（部門長 山本将規）
- ② 免疫血清検査（部門長 山本将規）
- ③ 血液検査（部門長 染谷俊裕）
- ④ 一般検査（部門長 畠山和枝）
- ⑤ 輸血検査（部門長 千葉由紀）
- ⑥ 微生物検査（部門長 塩越真由美）
- ⑦ 病理検査（部門長 肥田野靖史）
- ⑧ 生理機能検査（部門長 館野幸枝）

実施委員長：千葉 拓也（岩手医科大学附属病院）

3. 学術部門主催研修会

計 23 回開催（内、助成金申請 15 研修会）

※ 開催形式：Web 開催 13 回、現地開催 9 回（内、実技あり 5 回）、ハイブリッド開催 1 回

今年度は、研修会開催マニュアル等の整備を行い、学術部全体で年度計画を立てて活動した。研修会の開催案内はホームページへの掲載し、会員への一斉メール配信を利用して研修会情報の周知を行った。各部門 2 回以上の研修会を開催し、5 部門で実技研修会も開催した。学術部門合同研修会では、部門長以外の方に講師を依頼することで講師育成の場としても活用することができた。

- 1) 【2024 年 4 月施行】労働安全衛生法に関する勉強会

- 日 時：令和 6 年 4 月 20 日（土）13:00～14:00
 会 場：盛岡赤十字病院 2 階 会議室
 内 容：講演「SDS も見方と新たな化学物質規制について
 ～労働安全衛生法の新たな化学物質規制より～」
 講師 茅切 智之 氏（株式会社ファルマ）
 担 当：病理・細胞検査部門（肥田野靖史）
 共 催：盛岡赤十字病院、株式会社バイタルネット
 参加者：27 名
- 2) 令和 6 年度 岩臨技 第 1 回生物化学分析部門研修会
 日 時：令和 6 年 6 月 6 日（木）18:00～19:00
 会 場：Web 開催（Microsoft Teams を使用）
 内 容：講演「免疫検査のピットフォール」
 講師 村上 聡 氏（アボットジャパン合同会社）
 担 当：生物化学分析部門（山本将規）
 参加者：12 名
- 3) 令和 6 年度 岩臨技 学術部門合同研修会 part1
 日 時：令和 6 年 7 月 4 日（木）17:30～18:30
 会 場：Web 開催（Zoom 使用）
 内 容：講演 I 「岩臨技の紹介」
 講師 高橋 一博 会長（岩手県立中央病院）
 講演 II 生化学・免疫検査「生化学・免疫検査の基礎」
 講師 森 敏輝 技師（岩手県立久慈病院）
 担 当：総管理部門（小野寺奈緒）、生物化学分析部門（山本将規）
 参加者：43 名
- 4) 令和 6 年度 岩臨技 学術部門合同研修会 part2
 日 時：令和 6 年 7 月 11 日（木）17:30～18:30
 会 場：Web 開催（Zoom 使用）
 内 容：講演 I 血液・凝固検査「血液検査の基礎を学ぼう」
 講師 高橋 千佳 技師（岩手県立胆沢病院）
 講演 II 一般検査「一般検査の入門編」
 講師 五内川 有希 技師（岩手医科大学附属病院）
 担 当：総管理部門（小野寺奈緒）、血液検査部門（染谷俊裕）、
 一般検査部門（畠山和枝）
 参加者：61 名
- 5) 令和 6 年度 岩臨技 学術部門合同研修会 part3
 日 時：令和 6 年 7 月 17 日（水）17:30～18:30
 会 場：Web 開催（Zoom 使用）
 内 容：講演 I 心電図検査「初めて心電図をとる方へ」
 講師 畑中 早紀 技師（岩手県立大船渡病院）
 講演 II 血圧脈波検査「ABI・CAVI 検査の基礎」
 講師 長澤 和樹 技師（岩手医科大学附属病院）
 講演 III 病理検査「病理検体の取り扱い方」
 講師 北條 寛尚 技師（岩手医科大学附属病院）
 担 当：総管理部門（小野寺奈緒）、生理機能部門（舘野幸枝）、
 病理・細胞検査部門（肥田野靖史）
 参加者：59 名
- 6) 令和 6 年度 岩臨技 第 1 回感染制御部門研修会
 日 時：令和 6 年 7 月 20 日（土）14:00～15:20
 会 場：Web 開催（Zoom 使用）
 内 容：テーマ「0 から始める薬剤耐性菌」
 講演 I 「グラム陰性桿菌の薬剤耐性菌について」

- 講師 齋藤 匠吾 技師（岩手医科大学附属病院）
 講演Ⅱ「グラム陽性球菌の薬剤耐性菌について」
 講師 向井 千純 技師（岩手県立中央病院）
 担 当：感染制御部門（塩越真由美）
 参加者：33 名
- 7) 令和 6 年度 岩臨技 学術部門合同研修会 part4
 日 時：令和 6 年 7 月 24 日（水）17:30～18:30
 会 場：Web 開催（Zoom 使用）
 内 容：講演Ⅰ 輸血検査「血液型検査について」
 講師 藤原 教徳 技師（岩手県立磐井病院）
 講演Ⅱ 細菌検査「グラム染色について」
 講師 三浦 采香 技師（岩手県立江刺病院、遺伝子検査部門長）
 担 当：総管理部門（小野寺奈緒）、移植検査部門（千葉由紀）、
 感染制御部門（塩越真由美）
 参加者：46 名
- 8) 令和 6 年度 岩臨技 第 1 回血液検査部門研修会
 日 時：令和 6 年 8 月 6 日（火）18:00～19:00
 会 場：Web 開催（Zoom 使用）
 内 容：講演「夜間当直者の役に立つ採血・採血管取扱いの基礎知識
 （遭遇する可能性のある検査異常値まで）」
 講師 須長 宏行 氏（積水メディカル株式会社）
 担 当：血液検査部門（染谷俊裕）
 参加者：36 名
- 9) 令和 6 年度 岩臨技 第 1 回病理・細胞検査部門研修会
 日 時：令和 6 年 8 月 24 日（土）14:00～18:30
 会 場：盛岡赤十字病院 2 階 会議室
 内 容：講演Ⅰ「令和 6 年度 認定病理検査技師 試験対策」
 講師 菊地 美葵 技師（岩手県立中部病院）
 講演Ⅱ「DMAT 活動報告」
 講師 佐藤 昂 技師（岩手県立中央病院）
 講演Ⅲ「PAS 反応について」
 講師 山田 範幸 技師（岩手医科大学附属病院）
 講演Ⅳ「化学物質管理者の役割」
 講師 肥田野 靖史 技師（岩手医科大学附属病院）
 講演Ⅴ「HER2 低発現乳癌」
 講師 折原 貴士 氏（ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社）
 担 当：病理・細胞検査部門（肥田野靖史）
 参加者：24 名
- 10) 令和 6 年度 岩臨技 第 2 回血液検査部門研修会
 日 時：令和 6 年 9 月 10 日（火）18:00～19:00
 会 場：Web 開催（Zoom 使用）
 内 容：講演「夜間当直者の役に立つ凝固検査の基礎知識
 （遭遇する可能性のある検査異常値まで）」
 講師 須長 宏行 氏（積水メディカル株式会社）
 担 当：血液検査部門（染谷俊裕）
 参加者：48 名
- 11) 令和 6 年度 岩臨技 感染制御部門 染色体・遺伝子部門合同研修会
 日 時：令和 6 年 9 月 12 日（木）18:00～19:00
 会 場：Web 開催（Zoom 使用）
 内 容：講演「新型コロナウイルスにより普及した全自動 PCR 検査装置の活用について
 C.difficile、MRSA の検出に NAAT 検査を導入する利点」

- 講師 堂浦 照也 氏 (ベックマンコールター株式会社)
 担当: 感染制御部門 (塩越真由美)、遺伝子検査部門 (三浦采香)
 参加者: 16 名
- 12) 令和 6 年度 岩臨技 第 2 回感染制御部門研修会
 日時: 令和 6 年 9 月 28 日 (土) 13:30~16:45
 会場: 岩手県立中央病院 3 階 視聴覚室
 内容: テーマ「嫌気性菌を学ぶ」
 講演「嫌気性菌の初代分離を考える (仮)」
 講師 中間 慎哉 氏 (極東製薬工業株式会社)
 担当: 感染制御部門 (塩越真由美)
 参加者: 15 名
- 13) 令和 6 年度 岩臨技 第 1 回生理機能部門研修会
 日時: 令和 6 年 9 月 28 日 (土) 13:30~15:00
 会場: 盛岡市上田公民館 第一集会室
 内容: 講演「ライブレクチャーで学ぶ脳波検査の基本手技」
 講師 高橋 広大 技師 (岩手医科大学附属病院)
 担当: 生理機能部門 (館野幸枝)
 協賛: 日本光電工業株式会社
 参加者: 20 名
- 14) 令和 6 年度 岩臨技 第 1 回一般検査部門研修会
 日時: 令和 6 年 10 月 18 日 (金) 18:30~20:00
 会場: いわて県民情報交流センター アイーナ 5 階 会議室 501
 内容: 講演 I 「尿化学項目の概要とその周辺知識」
 講師 綿引 健介 氏 (栄研化学株式会社)
 講演 II 「上皮細胞の鑑別法」
 講師 石澤 毅士 技師 (慶應義塾大学病院)
 担当: 一般検査部門 (畠山和枝)
 共催: 栄研化学株式会社
 参加者: 21 名
- 15) 令和 6 年度 岩臨技 第 2 回生物化学分析部門研修会
 日時: 令和 6 年 10 月 29 日 (火) 18:00~19:00
 会場: Web 開催 (Zoom 使用)
 内容: 講演「肝炎検査の基礎と再活性化対策」
 講師 村上 聡 氏 (アボット時版合同会社)
 担当: 生物化学分析部門 (山本将規)
 参加者: 31 名
- 16) 令和 6 年度 岩臨技 第 1 回移植検査部門研修会
 日時: 令和 6 年 10 月 30 日 (水) 18:00~19:00
 会場: Web 開催 (Zoom 使用)
 内容: 講演「不規則抗体同定・消去法をマスターしよう」
 講師 千葉 由紀 技師 (岩手県立中央病院)
 担当: 移植検査部門 (千葉由紀)
 参加者: 69 名
- 17) 令和 6 年度 岩臨技 第 2 回一般検査部門研修会
 日時: 令和 6 年 11 月 16 日 (土) 13:00~17:00
 会場: 岩手医科大学 矢巾キャンパス 西講義実習棟 4 階 4-B 実習室 (西 402)
 内容: 講演「顕微鏡の基礎知識と日常できるメンテナンス」
 講師 舟根 雅尚 氏 (株式会社エビデント)
 実習「尿沈渣鏡検 実習」
 講師 小熊 マリ子 技師 (秋田大学医学部附属病院)
 鳴海 一訓 技師 (つがる西北五広域連合 かなぎ病院)

- 畠山 和枝 技師（岩手医科大学附属病院）
担 当：一般検査部門（畠山和枝）
参加者：16 名
- 18) 令和 6 年度 岩臨技 第 3 回血液検査部門研修会
日 時：令和 6 年 11 月 16 日（土）13:00～17:00
会 場：岩手医科大学 矢巾キャンパス 西講義実習棟 4 階 4-B 実習室（西 402）
内 容：講演「顕微鏡の基礎知識と日常できるメンテナンス」
講師 舟根 雅尚 氏（株式会社エビデント）
実習「末梢血液像鏡検実習」
講師 千葉 拓也 技師（岩手医科大学附属病院）
内藤 呂美 技師（岩手県立中央病院）
川向 沙耶香 技師（岩手医科大学附属病院）
染谷 俊裕 技師（岩手医科大学附属病院）
担 当：血液検査部門（染谷俊裕）
参加者：16 名
- 19) 令和 6 年度 岩臨技 第 2 回染色体・遺伝子部門研修会
日 時：令和 6 年 11 月 19 日（金）18:00～19:00
会 場：Web 開催（Zoom 使用）
内 容：講演Ⅰ「染色体検査における検体採取と、個人遺伝情報としての取り扱い方」
講師 藤岡 梢 氏（H.U.フロンティア）
講演Ⅱ「遺伝子検査における FFPE スライド提出の注意点」
講師 林本 真幸 氏（H.U.フロンティア）
担 当：遺伝子検査部門（三浦采香）
参加者：77 名
- 20) 令和 6 年度 岩臨技 第 4 回血液検査部門研修会
日 時：令和 6 年 12 月 3 日（火）18:00～19:00
会 場：Web 開催（Zoom 使用）
内 容：講演「夜間当直者の役に立つ－FDP・D ダイマーの基礎知識－」
「第 1・2 回研修会の質問事項についての解説・最新トピックス」
講師 須長 宏行 氏（積水メディカル株式会社）
担 当：血液検査部門（染谷俊裕）
参加者：40 名
- 21) 令和 6 年度 岩臨技 第 2 回移植検査部門研修会
日 時：令和 6 年 12 月 7 日（土）14:00～17:00
会 場：岩手県立中央病院 2 階 第 1 会議室
内 容：テーマ「チャレンジ！赤血球抗体解離試験・抗体同定」
講演・実習「赤血球抗体解離試験について」
講師 小黑 博之 氏（バイオ・ラッドラボラトリーズ株式会社）
担 当：移植検査部門（千葉由紀）
参加者：20 名
- 22) 令和 6 年度 岩臨技 第 2 回生理機能部門研修会
日 時：令和 7 年 2 月 1 日（土）12:30～15:00
会 場：都南公民館（キャラホール）第 1 研修室
内 容：講演Ⅰ「シャントエコーの基礎」
講師 村田 徹 先生（赤坂病院 診療放射線技師）
講演Ⅱ「当院透析室におけるエコーを活用した VA 関連業務の現状」
講師 中村 俊康 先生（三愛病院附属矢巾クリニック 臨床工学技士）
ハンズオン「VA エコー」
講師 中村 俊康 先生（三愛病院附属矢巾クリニック 臨床工学技士）
土屋 初美 先生（三愛病院附属矢巾クリニック 診療放射線技師）
担 当：生理機能部門（舘野幸枝）

協 賛：富士フイルムメディカル株式会社
一般社団法人 岩手県腎臓病の会

参加者：12 名

23) 令和 6 年度（第 30 回）岩臨技 精度管理調査報告会・総管理部門研修会

日 時：令和 7 年 2 月 8 日（土）13:00～16:00

会 場：ハイブリッド開催（現地：リリオ 3F イベントホール、Web：Zoom 使用）

内 容：精度管理調査報告（各学術部門長）

講演「これからの精度管理を考える」

講師 山本 肇 技師（一般財団法人 竹田健康財団 竹田綜合病院）

担 当：精度管理担当（千葉拓也）、総管理部門（小野寺奈緒）

参加者：91 名

4. 北日本支部部門研修会（岩手県担当分）

令和 6 年度日臨技北日本支部染色体・遺伝子部門研修会

日 時：令和 7 年 1 月 11 日

会 場：Web 配信（zoom ウェビナー）

世話人：三浦 采香（岩手県立江刺病院）

5. タスク・シフト／シェアに関する厚生労働大臣指定講習会

岩手県 004

日 時：令和 6 年 6 月 16 日（日）

会 場：いわて県民情報交流センター（アイーナ）

実務責任者：千葉 寛（盛岡市立病院）

※ 開催最少人数に達しないため開催中止

岩手県 005

日 時：令和 6 年 11 月 24 日（日）

会 場：いわて県民情報交流センター（アイーナ）

実務責任者：千葉 寛（盛岡市立病院）

参 加 者：59 名

<公益事業部> 公益事業部長：川村 将史

公益事業活動として、昨年度と同様に「検査と健康展」を新型コロナウイルス感染症の感染対策に留意し、県民の皆さまに私たち臨床検査技師の仕事内容を周知する事に特化して開催した。また、昨年度から導入し、非常に好評だった「AED 体験」と「超音波検査体験」も継続して実施した。参加者（143 名）の多くの人に展示の見学や様々な検査を体験していただくことができた。

公益事業活動の「がん予防啓発活動」の一環として、2024 年 9 月 8 日（日）に安比高原スキー場を会場に行われた「あっぱりレーマラソン 2024」に参加した。2020 年から 2023 年までは新型コロナウイルス感染症の影響で参加を自粛していたため 4 年振りの参加となった。今回の参加で、あっぱりレーマラソンを利用して行い始めた公益事業がん予防啓発活動は「10 年目の記念すべき年」になった。公益事業活動として大腸がん予防啓発トイレットペーパーの配布やビブスに載せた予防啓発メッセージを通して、広く県民に大腸がん予防啓発ができたと考えている。

ガン予防啓発事業：

【大腸がん予防啓発キャンペーン あっぱりレーマラソン 2024 「STOP!大腸がん」】

開催日：令和 6 年 9 月 8 日（日）

場 所：安比高原スキー場周辺

対 象：岩手県民

参加者：（一社）岩臨技会員 13 名、会員家族 1 名、賛助会員施設 1 名。合計 15 名。

活動内容：

公益事業活動の「がん予防啓発活動」の一環として、2014 年からあっぱりレーマラソンを利用

し県民へのがん予防啓発を始めた本活動は、今回で「10年目の記念すべき年」になった。新型コロナウイルス感染症の影響もあり岩臨技としては活動を自粛していたが、今回は4年振りに参加した。会員は公益事業活動の一つとして大腸がん予防啓発トイレトペーパーを配布した。

学生に対する臨床検査技師の普及事業

【マイナビ進学ライブ 2024（盛岡）】

開催日：令和6年6月20日（水）13時00分～16時00分

場 所：盛岡タカヤアリーナ

対 象：高校生（参加者：高校1、2年生960名。臨床検査技師ブース来場者：26名）

活動内容：

昨年度から引き続き、「社会人アドバイザー（保育士、事務職、理学療法士、臨床検査技師の四職種）」として臨床検査技師を選択した経緯や仕事の経験を伝え、高校生が臨床検査技師になるという将来を考える上でのアドバイスを行った。当日に臨床検査技師を説明した高校生は26名。学生に近い世代の盛岡地区技師会役員2名がスタッフとして参加し、自身の経験をもとに臨床検査技師という資格について丁寧に説明した。参加者は真剣に話を聞いてくれた。参加したことで、学生の考えも聞くことができ、とても良い経験となった。次年度以降も企画された際には積極的に参加したい意向である。

参加校：

- ① 共和学院水沢第一高等学校
- ② 岩手県立花巻南高等学校
- ③ 江南義塾盛岡高等学校
- ④ 岩手女子高等学校
- ⑤ 岩手県立紫波総合高等学校盛岡中央高等学校
- ⑥ 岩手県立盛岡商業高等学校

全国 検査と健康展：実施

【検査と健康展 in やはぱーく】

開催日：令和6年11月10日（日）

場 所：矢巾町活動交流センター やはぱーく（紫波郡矢巾町）

担 当：岩臨技公益事業部、盛岡地区技師会

対象者：県民の方、臨床検査技師の仕事内容を知りたい方、学びたい方、

将来の職業として臨床検査技師に興味がある学生。

活動内容：

日臨技と岩臨技のそれぞれが主催の企画である「全国 検査と健康展」を新型コロナウイルス感染症、インフルエンザに加えマイコプラズマ肺炎への感染拡大防止に留意しながら、昨年同様の内容で開催した。当日は143名もの多くの県民に足を運んでいただいた。昨年度から「ふれあい」も大切にするべきと考え「AED体験」と「超音波検査体験」を導入したが非常に好評であった。また、継続して我々臨床検査技師の仕事であるPCR検査を県民に直接伝えることもできた。開催場所の「やはぱーく」は学生たちが勉強できるスペースも併設しているため、そこに勉強しに来ていた学生たちにも私たち臨床検査技師がやっていることについての説明を見ていただくことができた。

＜生涯教育研修部＞ 生涯教育研修担当：千葉 寛

1. 2024年度における生涯教育活動並びに会員からの自己申告は、生涯教育研修部に届いているものに関しては、日臨技総合情報システム（JAMTIS）に登録済である。
2. 生涯教育サイクルは5年間とし、基礎教科、専門教科をバランスよく受講し、合計200点以上で終了証書の発行を受けることが出来る。

【基礎教科（60点以上）＋専門教科（140点以上）＝200点以上】

3. 2024年度の生涯教育活動一覧を表1に示す。日臨技研修会推進事業に20行事申請した（最大枠20行事）。開催された対象行事は39回、うち学会1回、研修会等38回でオンライン形式25、現地開催12、ハイブリット1であった。総会が開催されたが、会場参加は役員のためのハイブリット開催であった。

4. 月別生涯教育行事開催数を表 2、教科別の開催状況を表 3・4 に示す。昨年より研修会数が 18 増であり、学術部の計画性が充実と伺える。
5. 今年度は、集会型の研修会も開催できた。WEB 開催は参加者にとって、何処にいても参加できるメリットはあるため、広報周知はホームページと定期的メール配信が主体となるが参加者の獲得に期待したい。
6. ホームページは、研修会の案内文書の配布機会の減少もあり、研修会などの行事案内は生涯教育研修部に依頼のあったものは全て掲載した。

表 1 生涯教育活動一覧

	開催日	行事名	主催等	参加者数	生涯点数		推進事業
1	2024/04/20	【2024 年 4 月施行】労働安全衛生法に関する勉強会	病理	27	基礎	30	
2	2024/05/15	令和 6 年度 盛岡地区技師会定期総会	総会	36	基礎	30	
3	2024/05/25	(一社) 岩手県臨床衛生検査技師会 2024 年度定時総会	総会	43	専門	20	
4	2024/06/06	第 1 回生物化学分析部門研修会	臨床化学	12	基礎	20	採用 1
5	2024/06/20	マイナビ進学ライブ 2024「社会人アドバイザー」	公益事業	3	基礎	30	
6	2024/07/04	令和 6 年度 岩臨技 学術部門合同研修会 Part1	教育	43	基礎	30	採用 2
7	2024/07/11	令和 6 年度 岩臨技 学術部門合同研修会 Part2	教育	61	専門	20	採用 3
8	2024/07/17	令和 6 年度 岩臨技 学術部門合同研修会 Part3	教育	59	基礎	20	採用 4
9	2024/07/20	令和 6 年度第 1 回感染制御部門研修会	微生物	33	専門	20	採用 5
10	2024/07/24	令和 6 年度 岩臨技 学術部門合同研修会 Part4	教育	46	専門	20	採用 6
11	2024/07/25	令和 6 年度第 1 回三陸地区技師会研修会	教育	63	専門	20	採用 7
12	2024/08/06	令和 6 年度第 1 回血液検査部門研修会	血液	36	専門	20	採用 8
13	2024/08/24	令和 6 年度岩臨技第 1 回病理・細胞検査部門研修会	病理	24	専門	20	採用 9
14	2024/08/31	第 76 回盛岡地区技師会研修会	教育	67	基礎	20	採用 10
15	2024/09/10	令和 6 年度第 2 回血液検査部門研修会	血液	48	専門	20	採用 11
16	2024/09/12	令和 6 年度感染制御部門・染色体遺伝子部門合同研修会	遺伝子、染色体	16	専門	20	
17	2024/09/25	令和 6 年度第 1 回中部地区研修会	教育	31	専門	20	採用 12
18	2024/09/28	令和 6 年度第 2 回感染制御部門研修会	微生物	15	専門	20	採用 13
19	2024/09/28	令和 6 年度 岩臨技 第 1 回生理機能部門研修会	生理	20	専門	20	採用 14
20	2024/10/18	令和 6 年度 第 1 回岩臨技一般検査部門研修会	一般	21	専門	20	採用 15
21	2024/10/19	令和 6 年度 第 27 回岩手県医学検査学会	学会	109	専門	20	
22	2024/10/29	令和 6 年度 岩臨技 第 2 回生物化学分析部門研修会	臨床化学	31	専門	20	採用 16
23	2024/10/30	令和 6 年度第 1 回移植検査部門研修会	輸血	69	専門	20	採用 17
24	2024/11/07	令和 6 年度第 1 回北部地区技師会研修会	臨床化学	40	専門	20	採用 18
25	2024/11/10	2024 検査と健康展 in やはぱーく	公益事業	13	専門	20	
26	2024/11/16	令和 6 年度 第 2 回岩臨技一般検査部門研修会	一般	16	専門	20	

27	2024/11/16	令和 6 年度 岩臨技 第 3 回血液検査部門研修会	血液	16	専門	20	
28	2024/11/19	令和 6 年度 第 2 回染色体・遺伝子部門研修会	遺伝子、 染色体	77	基礎	20	採用 19
29	2024/12/03	令和 6 年度第 4 回血液検査部門研修会	血液	40	専門	20	
30	2024/12/07	令和 6 年度第 2 回移植検査部門研修会	輸血	20	専門	20	
31	2024/12/19	令和 6 年度第 3 回中部地区研修会	教育	31	専門	20	
32	2024/12/23	第 77 回盛岡地区技師会研修会	教育	74	専門	20	
33	2025/01/15	令和 6 年度第 1 回南部地区研修会	教育	16	専門	20	
34	2025/01/23	令和 6 年度第 4 回中部地区技師会研修会	教育	25	専門	20	
35	2025/01/29	令和 6 年度 第 2 回三陸地区技師会研修会	教育	35	専門	20	
36	2025/02/01	令和 6 年度 岩臨技 第 2 回生理機能部門研修会	生理	12	専門	20	
37	2025/02/08	令和 6 年度（第 30 回）岩臨技精度管理調査報告会・ 総合管理部門研修会	管理運営	91	専門	20	採用 20
38	2025/02/20	令和 6 年度第 5 回中部地区研修会	教育	12	専門	20	
39	2025/02/22	第 78 回盛岡地区技師会研修会	一般	114	専門	20	

表 2 年度別月別開催数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計(回)
2020	0	2	2	0	0	1	0	3	1	1	0	2	12
2021	0	2	0	0	2	0	2	4	1	0	4	1	16
2022	0	2	6	1	0	2	3	2	1	3	1	1	22
2023	0	2	2	1	2	1	2	4	3	2	2	0	21
2024	1	2	2	6	3	5	4	5	4	3	4	0	39

表 3 年度別教科点数別開催数

点数	2020	2021	2022	2023	2024
基礎教科 10 点	0	0	0	0	0
基礎教科 20 点	2	2	3	5	5
基礎教科 30 点	4	1	2	2	2
専門教科 10 点	0	0	0	0	0
専門教科 20 点	6	12	17	14	32
専門教科 30 点	0	1	0	0	0
合計（回）	12	16	22	21	39

表 4 年度別教科別点数

教科	2020	2021	2022	2023	2024
基礎教科	160	70	120	160	160
専門教科	120	270	340	280	640
合計（点）	280	340	460	440	800

<精度管理部> 精度管理部長：千葉 拓也

令和 6 年度（第 20 回）岩臨技精度管理調査

調査実施日：令和 6 年 12 月 3 日（火）

対象部門：臨床化学，免疫血清，微生物，血液検査，一般検査，生理検査，輸血検査，病理検査

回答方法：日臨技精度管理システム（JAMTQC）を介してのみ

報告会

日時：令和 7 年 2 月 8 日（土）

会場：ハイブリット（Web 開催＋リリオ）

<書記・会報部> 書記・会報部長：藤倉 由規

1. 書記部門は、定期総会と岩手医科大学付属病院内丸メディカルセンターでの会議と Web での会議録を作成しました。
2. 会報部門は、346 号（4 月）、347 号（6 月）、348 号（8 月）、349 号（10 月）、350 号（12 月）、351 号（1 月）の 6 回作成し、Web での発行ができました。会長、副会長はじめ、各理事の皆様、会員の皆様のご協力ありがとうございました。この場をお借りして感謝申し上げます。

<地区技師会・事業報告>

北部地区技師会（北部地区会長：熊谷 正邦）

通常総会は昨年同様、5 月上旬に会員に議案書を送付し書面にて議決権行使をお願いし、書面表決とした。研修会は 1 回開催した。

令和 6 年度北部地区通常総会

日時：令和 6 年 5 月

形式：書面評決

会員総数 37 名、回収率 100%。

令和 5 年度事業報告・会計報告と令和 6 年度事業案・予算案・役員案について 37 名（3 分の 2 以上で可決）の賛成を似て可決された。

令和 6 年第 1 回北部地区技師会研修会

日時：令和 6 年 11 月 7 日（木）17：00～18：00

会場：Web 開催

内容：血液ガス分析検査について学術トレーニング

講師：シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティックス株式会社 濱田 宏輝先生

参加：40 名

盛岡地区技師会（盛岡地区会長：川村 将史）

今年度の活動は新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を行いながら総会、役員会の開催、検査と健康展 in やはぱーく、盛岡地区技師会研修会（計 3 回）を開催した。今年度の検査と健康展は前年度に引き続いて盛岡地区が担当し、前年度と同一内容で開催した（参加者 143 名）。研修会は事業計画案通り年 3 回開催した。

令和 6 年度 盛岡地区技師会総

日 時：令和 6 年 5 月 15 日（水）18：30～19：00

会 場：web 及び現地開催（盛岡市立病院 2 階大会議室）

参 加：37 名

委任状：181 名（盛岡地区会員 272 名 過半数 137 名）

令和 6 年度 第 1 回 役員会

日 時：令和 6 年 5 月 15 日（水）19：00～20：00

会 場：web 及び現地開催（盛岡市立病院 2 階大会議室）

内 容：令和 6 年度の活動について

第 76 回 盛岡地区技師会研修会

日 時：令和 6 年 8 月 31 日（土）14：30～15：30

会 場：web 開催

内 容：日当直に役立つ血液ガスデータの見方

講 師：株式会社テクノメディカ 方式開発部

中田 直貴（ナカダ ナオキ）先生

参 加：72 名

検査と健康展 in やはぱーく（岩手県臨床衛生検査技師会、盛岡地区技師会共催）

日 時 : 令和 6 年 11 月 10 日 (日) 9:00~13:00
会 場 : 矢巾町活動交流センター やはぱーく (紫波郡矢巾町)
内 容 : 臨床検査技師紹介の展示、健康啓発パネルの展示、リーフレット配布、POCT 用遺伝子増幅検査機器の展示、新型コロナウイルスの検査法についてご紹介、PPE 着用体験、AED の操作説明・体験、超音波検査体験
参 加 : 143 名

令和 6 年度 第 2 回 役員会

日 時 : 令和 6 年 11 月 10 日 (日) 13:00~13:15
会 場 : 矢巾町活動交流センター やはぱーく (紫波郡矢巾町)
内 容 : 第 77・78 回盛岡地区技師会研修会について

第 77 回 盛岡地区技師会研修会

日 時 : 令和 6 年 12 月 23 日 (月) 18:00~19:00
会 場 : web 開催
内 容 : 日当直に役立つ血液培養陽性時のグラム染色検査
講 師 : 岩手県立中央病院 臨床検査技術科
中村 理紗子 (ナカムラ リサコ) 先生
参 加 : 74 名

第 78 回 盛岡地区技師会研修会

日 時 : 令和 7 年 2 月 22 日 (土) 10:30~11:30
会 場 : web 開催
内 容 : こんなときどうする、髄液検査
講 師 : 岩手医科大学附属病院 中央検査部
五内川 有希 (ゴナイカワ ユウキ) 先生
参 加 : 112 名

中部地区技師会 (中部地区会長: 鈴木 知子)

令和 6 年度、定期総会は新型コロナ感染拡大の影響を考慮し、会員 87 名に議案書を送付し、「議決権行使書 兼 委任状」による書面総会という形をとった。各議案については委任状の提出 (会員数 87 名、委任状回収率 98.9%、賛成 86 名) を以て可決した。

中部地区技師会主催の研修会はオンラインでの研修会を 4 回、現地集合での交流会を 1 回行った。

令和 6 年度 第 1 回研修会

日 時 : 令和 6 年 9 月 25 日 (水) 17:00~18:00
会 場 : オンライン開催
内 容 : C 型肝炎は撲滅できる!~行政の動向と臨床検査技師に期待されていること~
講 師 : アッヴィ合同会社肝炎オンコロジー事業本部肝炎戦略統括部市場戦略部 横濱 芳弘 氏
ロシュ・ダイアグノティクス株式会社 カスタマーフロント本部 第 1 統括 上月 健 氏
参 加 : 32 名

令和 6 年度 第 2 回中部地区技師会交流会

日 時 : 令和 6 年 11 月 16 日 (土) 10:00~11:30
会 場 : 北上市文化交流センターさくらホール feat.ツガワ 1 階ミュージックルーム 1
内 容 : 多肉植物寄せ植え
講 師 : 有限会社 パルテール
参 加 : 11 名

令和 6 年度 第 3 回研修会

日 時 : 令和 6 年 12 月 19 日 (木)

会 場 : web 開催
内 容 : 基礎から分かる甲状腺の検査(血液検査を中心に)
講 師 : ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社
プロフェッショナル本部 フィールドサイエンスチャプター 伊藤 寿実 氏
参 加 : 31 名

令和 6 年度 第 4 回研修会

日 時 : 令和 7 年 1 月 23 日(木)
会 場 : web 開催
内 容 : そうだったのか! 甲状腺ホルモンを深掘!
(ホルモン検査と非特異的反応,TSH ハーモナイゼーション etc)
講 師 : ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社
クリニシャンエンゲージメント本部 デイジーズストラテジリエゾン(甲状腺)
内田 夕紀 氏
参 加 : 25 名

令和 6 年度 第 5 回研修会

日 時 : 令和 7 年 2 月 20 日(木)
会 場 : web 開催
内 容 : 広がる甲状腺の医療連携(地域医療を中心に)
講 師 : ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社
クリニシャンエンゲージメント本部 デイジーズストラテジリエゾン(甲状腺)
谷川 俊一 氏
参 加 : 12 名

南部地区技師会(南部地区会長:中沢 和浩)

南部地区総会は、会員に議案書を送付し書面にて議決権行使をお願いし書面表決とした。
会員総数 54 名、回収率 98%。令和 5 年度事業報告・会計報告と令和 6 年度事業計画案・予算案・
役員案は、53 名の賛成をもって承認・可決された。
また、研修会は 1 回開催した。

令和 6 度南部地区技師会研修会

日 時 : 令和 7 年 1 月 15 日(水) 18:00 ~18:30
会 場 : 岩手県立磐井病院 2 階 多目的室
内 容 : 「循環器疾患と検査マーカーの基礎(ガイドラインを含め)」
講 師 : ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社 東田 雄一氏
参加者 : 16 名

三陸地区技師会(三陸地区会長:新沼 美穂子)

地区総会は、昨年同様、5 月に地区会員に議案書を送付し、書面での議決権行使をお願いしました。
会員数 43 名のところ、賛成多数により書面表決にて可決されました。
研修会は Web 形式により、2 回開催することができました。

また、10 月 19 日(土)いわて県民情報交流センターアイーナで開催された第 27 回岩手県医学検査
学会においては、開催担当地区として、前年度 2 月より準備してまいりました。その際は、岩臨技役員
ならびに盛岡地区会員の皆様の多大なご協力の元、作業を進め、最終的には、講師の仲本先生方含め総
勢 109 名の参加者となり、無事に終了することができました。さらに同日開催の 70 周年記念式典・祝
賀会も盛況に終わり、ご尽力いただきました会員の皆様、講師の方々、メーカー関係者、ご参加いた
だきました多数の皆様に感謝いたします。

令和 6 度三陸地区技師会 第 1 回研修会(Web 研修会)

日 時: 令和 6 年 7 月 25 日(木) 18:30 ~ 19:30

研修形式： Microsoft® Teams を使用しての Web 研修会
内 容： 臨床検査室の職場環境改善を目指して
講 師： アボットジャパン合同会社 診断薬・機器事業部
 カスタマーエクスペリエンス東日本営業本部 TSP 梶 優展氏
参 加 者： 66 名（メーカー含む）

令和 6 度三陸地区技師会 第 2 回研修会（Web 研修会）

日 時： 令和 7 年 1 月 29 日（水） 16：00～16：45
研修形式： Zoom を使用しての Web 研修会
内 容： 循環器診療における循環器マーカー
 ～2023 年改訂版 日本心不全学会ステートメントの解説を中心に～
講 師： ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社プロフェッショナル本部
 フィールドサイエンスチャプター 伊藤 寿実氏
参 加 者： 41 名（メーカー含む）

2024 年度収支計算書

(2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで)

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 入会金収入	10,000	8,500	1,500	
入会金収入	10,000	8,500	1,500	500 円×20 名
② 会費収入	4,580,000	4,454,000	126,000	
正会員会費収入	3,920,000	3,794,000	126,000	7,000 円×560 名
賛助会員会費収入	660,000	660,000	0	20,000 円×33 社
③ 事業収入	600,000	1,513,800	△ 913,800	
事業収入	600,000	1,513,800	△ 913,800	精度管理収入、県学会 参加費、広告費
④ 補助金等収入	1,107,000	1,469,600	△ 362,600	
研修会費収入	7,000	0	7,000	非会員参加費
民間助成金収入	1,100,000	1,469,600	△ 369,600	日臨技助成金、検査と 健康展助成金
⑤ 雑収入	2,000,500	2,027,575	△ 27,075	
受取利息収入	500	6,058	△ 5,558	
雑収入	2,000,000	2,021,517	△ 21,517	精度管理郵送費負担分、 70 周年記念事業特別予 算
事業活動収入計	8,297,500	9,473,475	△ 1,175,975	

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
2. 事業活動支出				
① 事業費支出	5,950,000	5,038,951	911,049	
ア 啓蒙活動支出	700,000	723,962	△ 23,962	
給料手当支出	100,000	55,000	45,000	スタッフ日当
報償費支出	100,000	54,446	45,554	スタッフ弁当
旅費交通費支出	110,000	49,440	60,560	スタッフ交通費
通信運搬費支出	10,000	0	10,000	発送費、切手代

	消耗品費支出	120,000	461,194	△ 341,194	ボールペン、マウスピース等
	印刷製本費支出	10,000	0	10,000	検査と健康展チラシ印刷
	賃借料支出	100,000	74,000	26,000	会場費、トランクルーム
	諸謝金支出	100,000	0	100,000	医師謝礼(2名)
	雑支出	50,000	29,882	20,118	安比リレーマラソンエントリー費 健康展備品
イ	学会活動支出	2,100,000	2,430,653	△ 330,653	
	給料手当支出	100,000	122,000	△ 22,000	
	報償費支出	100,000	295,226	△ 195,226	
	旅費交通費支出	100,000	135,040	△ 35,040	
	通信運搬費支出	90,000	258,664	△ 168,664	
	消耗品費支出	100,000	9,233	90,767	
	印刷製本費支出	105,000	351,118	△ 246,118	
	賃借料支出	205,600	173,330	32,270	
	諸謝金支出	250,000	80,000	170,000	
	雑支出	49,400	3,580	45,820	
	委託費	1,000,000	1,002,462	△ 2,462	70周年記念式典費用
ウ	研修会活動支出	900,000	1,034,075	△ 134,075	
	給料手当支出	120,000	245,000	△ 125,000	スタッフ日当
	報償費支出	80,000	28,085	51,915	講師飲料代等
	旅費交通費支出	150,000	200,870	△ 50,870	講師交通費、宿泊費
	通信運搬費支出	95,000	36,770	58,230	発送費、切手代
	消耗品費支出	30,000	140,153	△ 110,153	
	印刷製本費支出	10,000	855	9,145	資料作製費
	賃借料支出	110,000	83,700	26,300	会場費
	諸謝金支出	300,000	248,851	51,149	講師謝礼
	雑支出	5,000	49,791	△ 44,791	
エ	会報事業支出	1,500,000	0	1,500,000	
	通信運搬費支出	300,000	0	300,000	発送費、切手代
	消耗品費支出	50,000	0	50,000	
	印刷製本費支出	1,000,000	0	1,000,000	印刷費、70周年記念誌予算
	諸謝金出	100,000	0	100,000	
	雑支出	50,000	0	50,000	
オ	精度管理事業支出	750,000	850,261	△ 100,261	
	通信運搬費支出	70,000	57,398	12,602	切手代等
	消耗品費支出	500,000	575,123	△ 75,123	試料費、器材費

委託費支出	110,000	110,000	0	日臨技システム使用費
諸謝金支出	50,000	38,000	12,000	
雑支出	20,000	69,740	△ 49,740	手数料等

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
②管理費支出	2,347,500	2,734,863	△ 387,363	
役員報酬支出	80,000	63,000	17,000	理事日当 (@1000 円)
給料手当支出	547,000	531,000	16,000	手当
報償費支出	100,000	95,738	4,262	総会経費、監査経費
会議費支出	0	0	0	会場費
旅費交通費支出	250,000	205,715	44,285	理事会交通費、日臨技交通費
通信運搬費支出	600,000	790,905	△ 190,905	電話、インターネット、サイボウズ Office
消耗品費支出	10,000	11,399	△ 1,399	封筒、コピー用紙等
印刷製本費支出	100,000	42,618	57,382	コピー機使用料、コピー機使用料
賃借料支出	200,000	138,770	61,230	トランクルーム、コピー機リース、パソコンリース
諸謝金支出	10,000	18,533	△ 8,533	源泉所得税
租税公課支出	72,000	72,000	0	市民税、県民税
委託費支出	300,000	337,380	△ 37,380	レンタルサーバー使用料、HP 保守料
慶弔費	10,000	0	10,000	祝電
雑支出	68,500	427,805	△ 359,305	広告費、振込手数料
事業活動支出計	8,297,500	7,773,814		
事業活動収支差額	0	1,699,661	△ 1,699,661	
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入		0		
投資活動収入計		0		
2. 投資活動支出		0		
投資活動支出計		0		
投資活動収支差額		0		
Ⅱ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入		0		
財務活動収入計		0		
2. 財務活動支出		0		

財務活動支出計		0	
財務活動収支差額		0	
Ⅱ 予備費収支の部			
予備費支出		0	
予備費支出計		0	
予備費収支差額		0	
当期収支差額	0	1,699,661	
前期繰越収支差額	0	11,005,034	
次期繰越収支差額	0	12,704,695	

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、及び前受金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記 2 に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産および負債の内訳

(単位:円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金	412,402	264,789
普通預金	8,404,470	11,351,718
定期預金	2,000,851	0
県学会前渡金	1,100,000	0
北日本学会前渡金	0	0
合計	11,917,723	11,616,507
前受金	0	0
合計	0	0
次期繰越収支差額	11,917,723	11,616,507

財産目録

(2025 年 3 月 31 日現在)

(単位:円)

科 目		金 額		
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金	現金手許有高	264,789		
普通預金	岩手銀行県庁支店 No.121140	8,341,178		
	楽天銀行 NO 7284288	3,010,540		
定期預金	岩手銀行本町支店 No.96689	0		
県学会前渡金		0		
北日本学会前渡金		0		
流動資産合計			11,616,507	
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
基本財産合計		0		
(2) 特定資産				
特定資産合計		0		
(3) その他固定資産				
産				
什器備品		133,628		
その他固定資産合計		133,628		
固定資産合計			133,628	
資産合計				11,750,135
II 負債の部				
1. 流動負債				
前受金				
流動負債合計			0	
負債合計				0
正 味 財 産				11,750,135

貸借対照表

(2025 年 3 月 31 日現在)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	11,616,507	10,817,723	798,784
県学会前渡金	0	1,100,000	
北日本学会前渡金	0		
流動資産合計	11,616,507	11,917,723	△ 301,216
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
什器備品	133,628	133,628	0
その他固定資産合計	133,628	133,628	0
固定資産合計	133,628	133,628	0
資産合計	11,750,135	12,051,351	△ 301,216
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	0	0	0
流動負債合計	0	0	0
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	11,750,135	12,051,351	△ 301,216
正味財産合計	11,750,135	12,051,351	△ 301,216
負債及び正味財産合計	11,750,135	12,051,351	△ 301,216

承認第3号

令和7年度監査報告書

令和7年5月10日

一般社団法人 岩手県臨床衛生検査技師会
会 長 高 橋 一 博 様

監事 菊池 英岳



榎桁 久美



一般社団法人岩手県臨床衛生検査技師会定款第4章28条の規定により、令和6年度（令和6年4月1日～令和7年3月31日）の監査を令和7年5月10日岩手医科大学附属病院に於いて実施したので下記の通り報告する。

記

会務について

令和6年度事業計画に基づき、学術事業はWEB開催などを活用し円滑に遂行されていることを認める。また公益、渉外活動においても同様に活動が遂行されていることを認める。

財務について

令和6年度予算に基づき適切に運用されていた。また、諸帳簿、書類、領収書、収支伝票等は適切に処理され保管されていることを認める。

今年度は記念式典・祝賀会・記念誌も作成されており、活動が活発に行われていた。

経費削減として会報のネット掲載や、ネット銀行利用による手数料の削減など、数字として表れているので一層の活用を期待します。

要望事項

- ・ 今後の医療を取り巻く環境は厳しい道のりですが、「新たな価値」を生み出し広く県民・国民に認識して頂ける技師会を望む。
- ・ 生涯教育研修制度を通じ、会員の知識や技術水準の維持向上に努めることを望む。

第 1 号議案

令和 7 年度は従来の各部門毎の活動も行っていますが、それとは異なる組織再編、事務局移転、ホームページセキュリティ対策、災害対応の検討など例年と異なる事業計画も加わります。いずれも時代の変化に対応した必要な事業です。引き続き岩臨技会員皆様のご協力をどうぞよろしくお願い致します。

各部門からの事業計画は以下に提示致します。

事業計画（案）

<総務部>

1. 連絡網について

現在、個人および施設代表者のメールアドレスの登録をお願いしているところではありますが、一部において未登録または変更がなされていないケースも見受けられます。今後も引き続き登録の促進に努めるとともに、会員の皆様へ必要な情報を確実に届けるため、岩臨技ホームページを活用し、研修会等のご案内を積極的に発信してまいります。

2. ホームページの運用について

本年度も、会員の皆様が安心・安全に閲覧でき、かつ視認性に優れたホームページとなるよう検討・改善を進めてまいります。研修会等の情報発信をはじめとした、有用なコンテンツの充実を図ります。また、サイボウズについては、理事・地区会長・部門長等をメンバーとして引き続き活用し、連絡・情報共有ツールとしての有効性を高めてまいります。

3. 会員の親睦について

感染症の動向を注視しながら、会員の皆様のご要望に応えられるような親睦企画を立案・実施してまいります。安全と交流の両立を図りながら、会員間のつながりを深める機会の創出に努めます。

4. 事務局の移転について

2026 年 4 月に、現在岩臨技事務局が所在する岩手医科大学附属内丸メディカルセンターが岩手医科大学附属病院に統合が決定されております。これに伴い、今年度中には新たな事務局の移転先の決定および必要な手続きの実施を進めてまいります。

5. 地区再編計画について

北部地区から提案された、現在の 5 地区制に関する見直しについては、これまで理事会において繰り返し協議を重ねてまいりました。今年度は、会員の皆様へ具体的な再編案を提示できるよう進めてまいります。あわせて、組織体制や学術部門の再構築、再編スケジュール、またそれに伴う定款や諸規定の変更案についても提案できるよう行なってまいります。

6. 災害対策について

災害発生時における初動対応の確認や、役割分担・連絡体制の明確化など、災害対策マニュアルの策定・整備を目指します。また、地域社会への貢献の一環として、岩手県との災害協定締結に向けた検討・調整を進めるよう努めつつ災害対策について検討してまいります。

<学術部>

1. 学術部の組織再編

令和 7 年度から地区部門員を廃止し、各学術研究部門 部門長、副部門長の 2 名体制として事業を行う。令和 8 年度からは、学術部長および各担当理事を中心に各事業を行えるよう体制を整えていく。

2. 岩手県学会の開催

令和 7 年度の県学会は、地区技師会が主催する最後の学会となる。学会の担当地区は南部地区であ

り、11月30日に前沢ふれあいセンターでの開催を予定している。各学術研究部門の部門長も実行委員となり、南部地区と合同で企画・運営を行う。

3. タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会

令和7年度も2回の開催を予定している（岩手県006：令和7年6月22日、岩手県007：令和7年11月23日開催予定）。各都道府県での実技講習会の開催が難しくなっていることから、ホームページと日臨技に登録されたメールアドレスを利用し、早めの基礎講習および実技講習の受講を呼びかけていく。

4. 臨地実習指導者講習会

引き続きホームページと日臨技に登録されたメールアドレスを利用し呼びかけを行う。

5. 岩臨技精度管理調査の実施

例年通り12月上旬に実施、報告会は2月開催を予定している。実施内容については一部変更となる可能性がある。

6. 学術部主催研修会の開催

令和8年度の地区技師会廃止に先行して、令和7年度から学術部主導で研修会を開催する。昨年度に引き続き、新人向け研修会を開催するほか、各部門2～3回程度の研修会（実技研修会を含む）を予定している。学術部全体で研修会の年間計画、企画、運営を行い、研修会事業を充実させていく。また、次世代の学術部を担う人材の育成も視野に入れ、研修会を講師育成の場として活用していく。研修会の年間計画や開催案内はホームページと日臨技に登録されたメールアドレスを利用し、会員に周知する。

<公益事業部>

公益事業活動は「ガン予防啓発事業」、「全国 検査と健康展」と「学生に対する臨床検査技師の普及事業」の3事業を計画している。今年度はコロナ禍以前の「事業活動に戻す年とする」意向である。今後、も迫りくる様々な感染症に対する感染防止対策を行いながら、県民の皆さまに臨床検査技師を周知していただく活動や、（一社）岩臨技会員の一人一人の心と体の健康も大切にできる取り組みを吟味して適切に開催したい。

<ガン予防啓発事業>

【大腸がん予防啓発キャンペーン あっぴりレーマラソン 2025「STOP!大腸がん」(仮)】

開催日：令和7年9月（例年は第2週目の日曜日）

場 所：安比高原スキー場

参加予定岩臨技会員人数：20名

活動内容：昨年度から岩臨技チームとして参加を再開した。今年度も岩臨技チームとして参加し、本企画を通してSTOP!大腸がんをスローガンに県民にがん予防啓発を行いたい。

<全国 検査と健康展>・<学生に対する臨床検査技師の普及事業>

【検査と健康展 in 盛岡地区】

開催日：令和7年11月

場 所：矢巾町活動交流センター やはばーく（紫波郡矢巾町）

一般参加見込み数：150名

参加予定スタッフ数：約15名（内訳：岩臨技理事5名程度、岩臨技会員10名程度）

活動内容：今年度は、参加者との「ふれあい」をコロナ禍以前の開催形式に本格的に戻したいと考えている。「臨床検査技師」という名称を国民が忘れないように県民に対してさらに広く周知できるようにしたい。また、今後も予防医学の観点から健康維持に関心があると思われるため、そのような内容の企画を盛り込みたいと考えている。また学生に対する臨床検査技師の普及活動も行いたいと考えている。

<生涯教育研修部>

1、生涯教育研修部では、会員が生涯教育研修制度を通じ知識や技術水準の維持向上を目指し、会員個人の生涯に渡る学習を組織的に援助することを目的として活動をする。

- 2、ホームページの情報更新等は出来るだけ速やかに対応していきたい。
- 3、2025 年度も、新型コロナは終息に向かってはいるが、動向を見ながら現在の zoom ミーティングを用いた体制を続けながら、会員が参加しやすい方法を検討していきたい。
- 4、日臨技の事業の一つでもある、e ラーニングには認定関連のプログラムも多く、生涯教育研修制度の広報と啓蒙を行っていきたい。

<精度管理部>

令和 7 年度（第 31 回）岩臨技精度管理調査
前年度と同様の企画で 12 月に実施予定

<書記・会報部>

1. 定期総会および理事会の議事録作成
2. 会報については、今年度も 5・7・9・10・12・2 月に発行する予定（6 回）です。
会報については、会議録や学会・研修会等の案内で、Web 上にて掲載予定。

第2号議案

2025 年度収支予算(案)

(2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで)

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	差異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 入会金収入	10,000	10,000	0	
入会金収入	10,000	10,000	0	500 円×20 名
② 会費収入	4,370,000	4,580,000	△ 210,000	
正会員会費収入	3,710,000	3,920,000	△ 210,000	7,000 円×530 名
賛助会員会費収入	660,000	660,000	0	20,000 円×33 社
③ 事業収入	3,900,000	600,000	3,300,000	
事業収入	900,000	600,000	300,000	精度管理事業参加費、県学会参加費、広告費
特別事業収入	3,000,000	0	3,000,000	事務局移転費用、70周年記念事業予算
④ 補助金等収入	1,100,000	1,107,000	△ 7,000	
研修会費収入	0	7,000	△ 7,000	非会員参加費
民間助成金収入	1,100,000	1,100,000	0	日臨技助成金、検査と健康展助成金
⑤ 雑収入	500	2,000,500	△ 2,000,000	
受取利息収入	500	500	0	
雑収入	0	2,000,000	△ 2,000,000	
事業活動収入計	9,380,500	8,297,500	1,083,000	

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	差異	備 考
2. 事業活動支出				
① 事業費支出	4,450,000	5,950,000	△ 1,500,000	
ア 啓蒙活動支出	700,000	700,000	0	
給与手当支出	60,000	100,000	△ 40,000	スタッフ日当
報償費支出	60,000	100,000	△ 40,000	スタッフ弁当
旅費交通費支出	60,000	110,000	△ 50,000	スタッフ交通費

	通信運搬費支出	10,000	10,000	0	発送費、切手代
	消耗品費支出	400,000	220,000	180,000	ボールペン、マウスピース等
	印刷製本費支出	10,000	10,000	0	検査と健康展チラシ印刷
	賃借料支出	50,000	100,000	△ 50,000	会場費、トランクルーム
	諸謝金支出	0	0	0	医師謝礼(2名)
	雑支出	50,000	50,000	0	安比リレーマラソンエントリー費
	健康展備品				
イ 学会活動支出		1,000,000	2,100,000	△ 1,100,000	
	給与手当支出	100,000	100,000	0	
	報償費支出	100,000	100,000	0	
	旅費交通費支出	100,000	100,000	0	
	通信運搬費支出	100,000	90,000	10,000	
	消耗品費支出	100,000	100,000	0	
	印刷製本費支出	100,000	105,000	△ 5,000	
	賃借料支出	100,000	205,600	△ 105,600	
	諸謝金支出	100,000	250,000	△ 150,000	
	雑支出	50,000	49,400	600	
	委託費	150,000	1,000,000	△ 850,000	学会HP委託費
ウ 研修会活動支出		1,000,000	900,000	100,000	
	給与手当支出	220,000	120,000	100,000	スタッフ日当
	報償費支出	80,000	80,000	0	講師飲料代等
	旅費交通費支出	150,000	150,000	0	講師交通費、宿泊費
	通信運搬費支出	95,000	95,000	0	発送費、切手代
	消耗品費支出	30,000	30,000	0	
	印刷製本費支出	10,000	10,000	0	資料作製費
	賃借料支出	110,000	110,000	0	会場費
	諸謝金支出	300,000	300,000	0	講師謝礼
	雑支出	5,000	5,000	0	
エ 会報事業支出		1,000,000	1,500,000	△ 500,000	
	通信運搬費支出	0	300,000	△ 300,000	発送費、切手代
	消耗品費支出	0	50,000	△ 50,000	
	印刷製本費支出	600,000	1,000,000	△ 400,000	印刷費、70周年記念誌予算
	諸謝金出	400,000	100,000	300,000	
	雑支出	0	50,000	△ 50,000	
オ 精度管理事業支出		750,000	750,000	0	

通信運搬費支出	70,000	70,000	0	切手代等
消耗品費支出	500,000	500,000	0	試料費、器材費
委託費支出	110,000	110,000	0	日臨技システム 使用費
諸謝金出	50,000	50,000	0	
雑支出	20,000	20,000	0	手数料等

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	差異	備 考
②管理費支出	4,930,500	2,347,500	2,583,000	
役員報酬支出	80,000	80,000	0	理事日当(@ 1000 円)
給料手当支出	547,000	547,000	0	手当
報償費支出	100,000	100,000	0	総会経費、監査 経費
会議費支出	100,000	0	100,000	会場費
旅費交通費支出	323,000	250,000	73,000	理事会交通費、 日臨技交通費
通信運搬費支出	600,000	600,000	0	電話、インター ネット、サイボウ ズ Office
消耗品費支出	1,500,000	10,000	1,490,000	封筒、コピー用 紙等
印刷製本費支出	100,000	100,000	0	コピー機使用 料、コピー機使 用料
賃借料支出	1,000,000	200,000	800,000	事務局家賃、コ ピー機リース、 パソコンリース
水道光熱費支出	120,000	0	120,000	事務局光熱費
諸謝金支出	10,000	10,000	0	源泉所得税
租税公課支出	72,000	72,000	0	市民税、県民税
委託費支出	300,000	300,000	0	レンタルサーバ ー使用料、HP 保守料
慶弔費	10,000	10,000	0	祝電
雑支出	68,500	68,500	0	広告費、振込手 数料
事業活動支出計	9,380,500	8,297,500	1,083,000	
事業活動収支差額	0	0	0	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入		0		
投資活動収入計		0		
2. 投資活動支出		0		

投資活動支出計		0	
投資活動収支差額		0	
II 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入		0	
財務活動収入計		0	
2. 財務活動支出		0	
財務活動支出計		0	
財務活動収支差額		0	
II 予備費収支の部			
予備費支出		0	
予備費支出計		0	
予備費収支差額		0	
当期収支差額	0	0	
前期繰越収支差額			
次期繰越収支差額	0	0	

一般社団法人 岩手県臨床衛生検査技師会新役員 案

(任期 令和七年五月二十四日から二年間)

会 長	高 橋	一 博	岩手県立磐井病院
副 会 長	千 景	寛 奈 緒	盛岡市立病院
副 常 務 理 事	小 野 寺	奈 将 史	盛岡おおら脳神経内科クリニック
常 務 理 事	川 村 木	佐 々 木 由 介	いわてリハビリテーションセンター
理 事	浅 沼 越	匡 真 由 美	岩手県立大槌病院
理 事	塩 熊 谷	正 由 美 邦	盛岡赤十字病院
理 事	藤 倉 本	由 貴 美 子	岩手県立中央病院
理 事	佐 々 木 池	隆 知 子	岩手県立一戸病院
理 事	菊 安 藤	久 美 子	岩手県立軽米病院
理 事	高 新 沼	美 千 佳 子	岩手県立中部病院
理 事	朝 菊 池	英 久 岳 美	岩手県立遠野病院
監 事	下 川	波 步	岩手県立千厩病院
監 事			岩手県立大船渡病院
事務局長			岩手県立釜石病院
			せいてつ記念病院
			岩手県立江刺病院
			医療法人日新堂 八角病院
			岩手医科大学附属MC